

第 76 回 TADESCA

日時：2014 年 2 月 9 日（日） 10:30 - 11:30

場所：関西学院大学梅田キャンパス

- ・テーマー「所要時間 20 分の教案を作る-gustar 動詞の導入-」
- ・担当 一寸田知恵

1. 活動内容

A. スライド教材の紹介

担当者が作成した **gustar** 動詞のスライドを使用し、20 分の模擬授業を行った。授業を行う対象者は、第二外国語として初めてスペイン語を学習する学生とした。

B. スライド教材の改善点の話し合い

3～5名の5グループに分かれ、担当者が使用したスライドの改善点について話し合った。具体的な改善点として以下のようなものが挙げられた。

【改善点】

- ・ **gustar** の活用は三人称 **gusta / gustan** だけでもいいのではないか。
- ・ 肯定、否定の形だけでなく質問の形や会話でよく使用する”**a mí también**”などの表現の紹介を入れる。
- ・ 「a+人称」、「意味上の主語」、「文法上の主語」といった表現の工夫の必要がある。
- ・ 主語の単／複数はどのように決まるのか説明を入れる。
- ・ 類型動詞はどこまで含めるか。

その他、参加者が実際に授業で行っている **gustar** 動詞のグループワーク、ペアワークなどを紹介してもらった。

C. 参加者からの質問について、グループでの話し合い。

学生からよくある質問で説明に困るという例が挙げられ、そのことについてどのように説明をしているのか、グループごとに意見を出してもらった。

★学生からよくある質問

Me gustan el marisco y el pescado. と言えるが、

Me gustan cantar y bailar. とは言えない。

これはなぜか？

この質問に対して、あまり詳しく説明をしていないというのが大多数の意見だった。少数ではある

が、具体的な説明の例も挙げられた。

2. まとめ

グループ活動では時間いっぱいまで、さまざまな事柄について活発に話し合われ、時間が足りないようにも見受けられた。このことから、**gustar** 動詞の導入の際には、使用する日本語の表現方法や既習項目の復習、限られた時間の中でどこまでを説明するかなど、教師側に工夫の必要なことが改めて分かった。

グループに分かれての活動では、改善の方法や質問に対し、結論に達しなかったものがあったものの、参加者各自が新しい視点や意見を持ち帰り、今後の授業の改善に役立てられるような話し合いを持つことができた。